

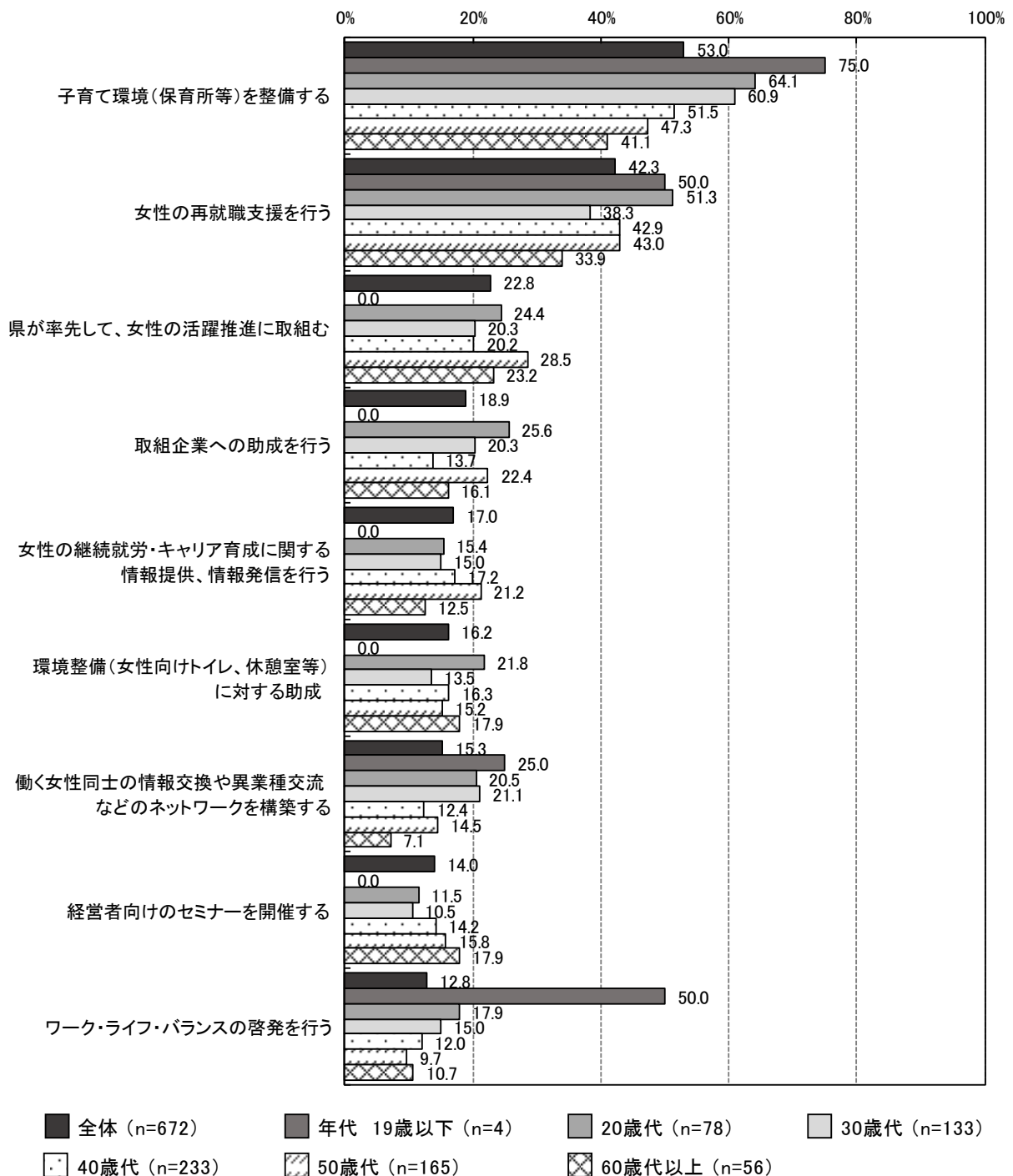
第十二章 県への要望について

1. 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援【問12】

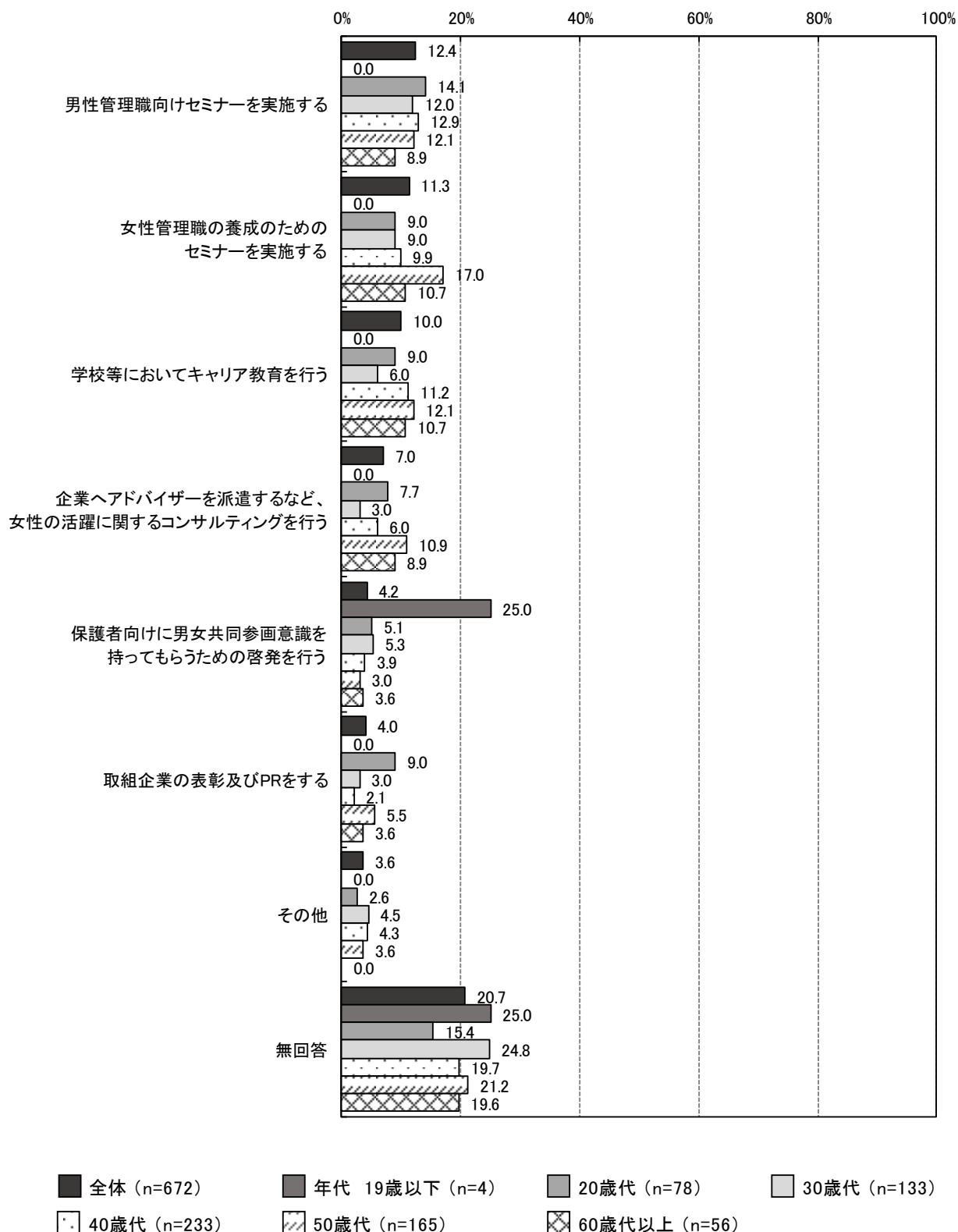
全体では、「子育て環境（保育所等）を整備する」が53.0%と最も高く、次いで「女性の再就職支援を行う」が42.3%、「県が率先して、女性の活躍推進に取り組む」が22.8%の順となっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「子育て環境（保育所等）を整備する」が最も高く、年代が高くなるにつれて割合が低くなり、20歳代で64.1%と、最も低い60歳代以上に比べて23.0ポイント高くなっている。20歳代は「女性の再就職支援を行う」においても割合が51.3%と最も高くなっている。

【図表 12-1-1①】 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（全体・年代別）《MA》

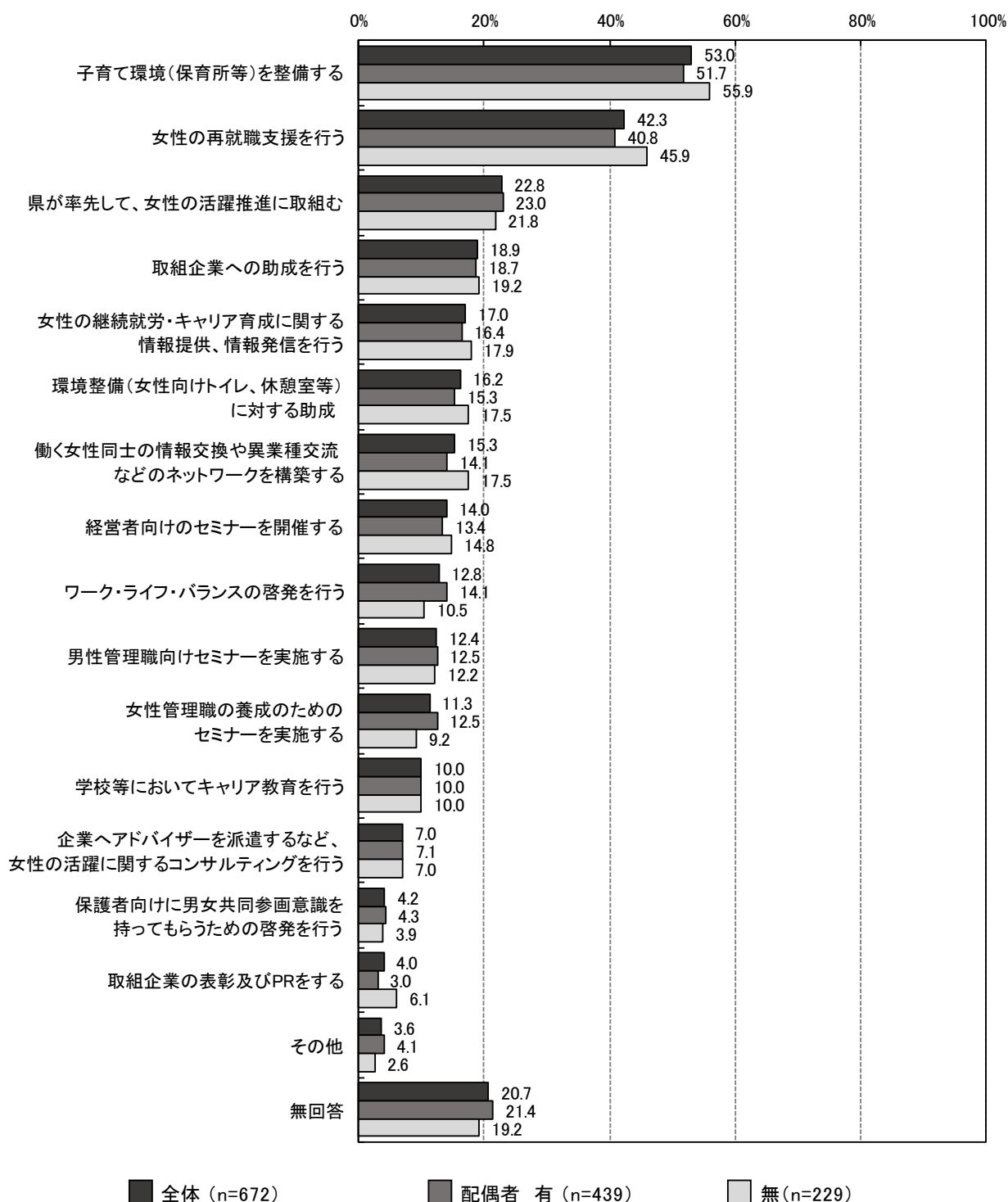


[図表 12-1-1②] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（全体・年代別）〈MA〉



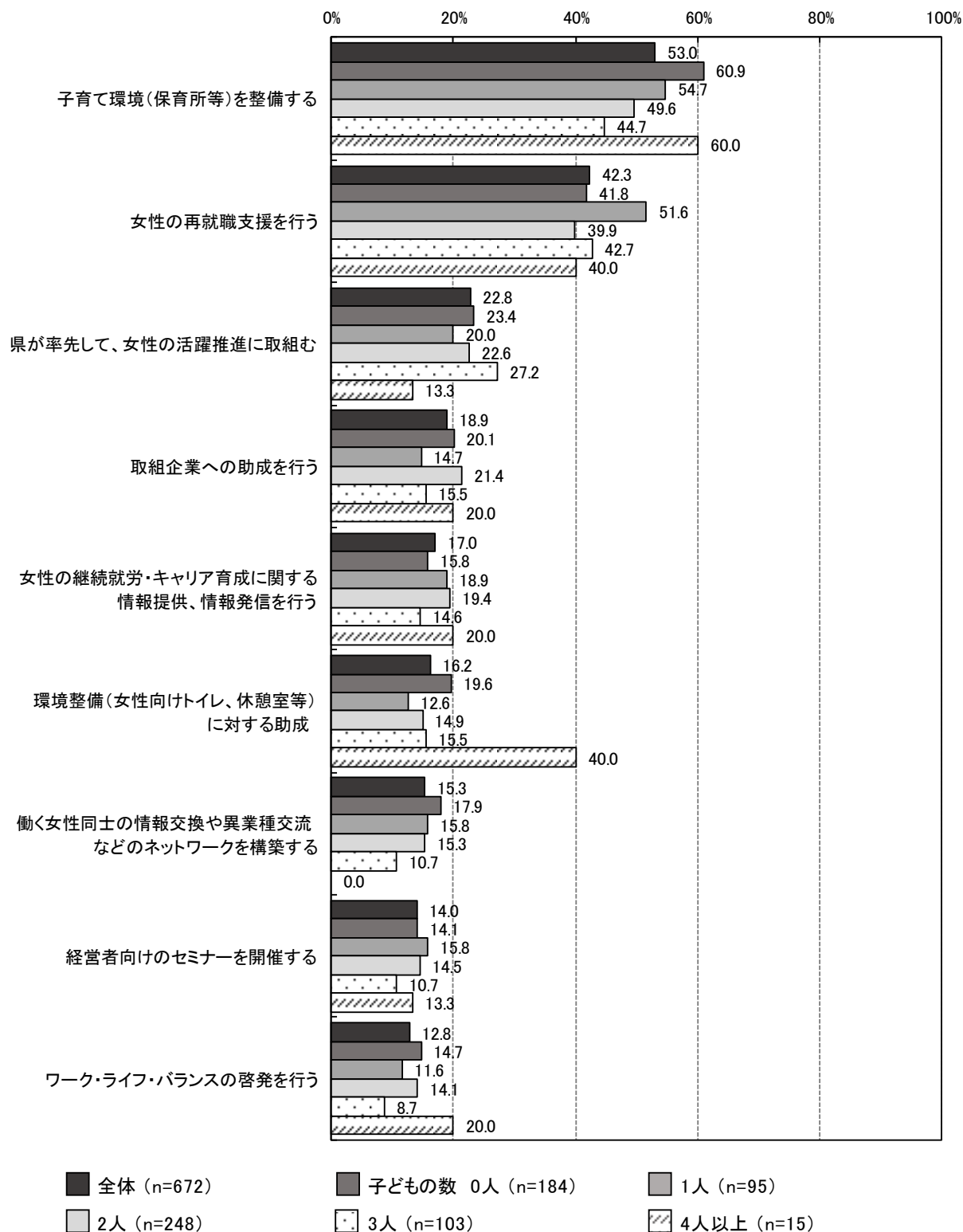
配偶者の有無別で見ると、配偶者有、無ともに「子育て環境（保育所等）を整備する」の割合が最も高く、配偶者有が51.7%、配偶者無が55.9%と配偶者無が配偶者有より4.2ポイント高くなっている。

[図表 12-1-2] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（配偶者の有無別）《MA》

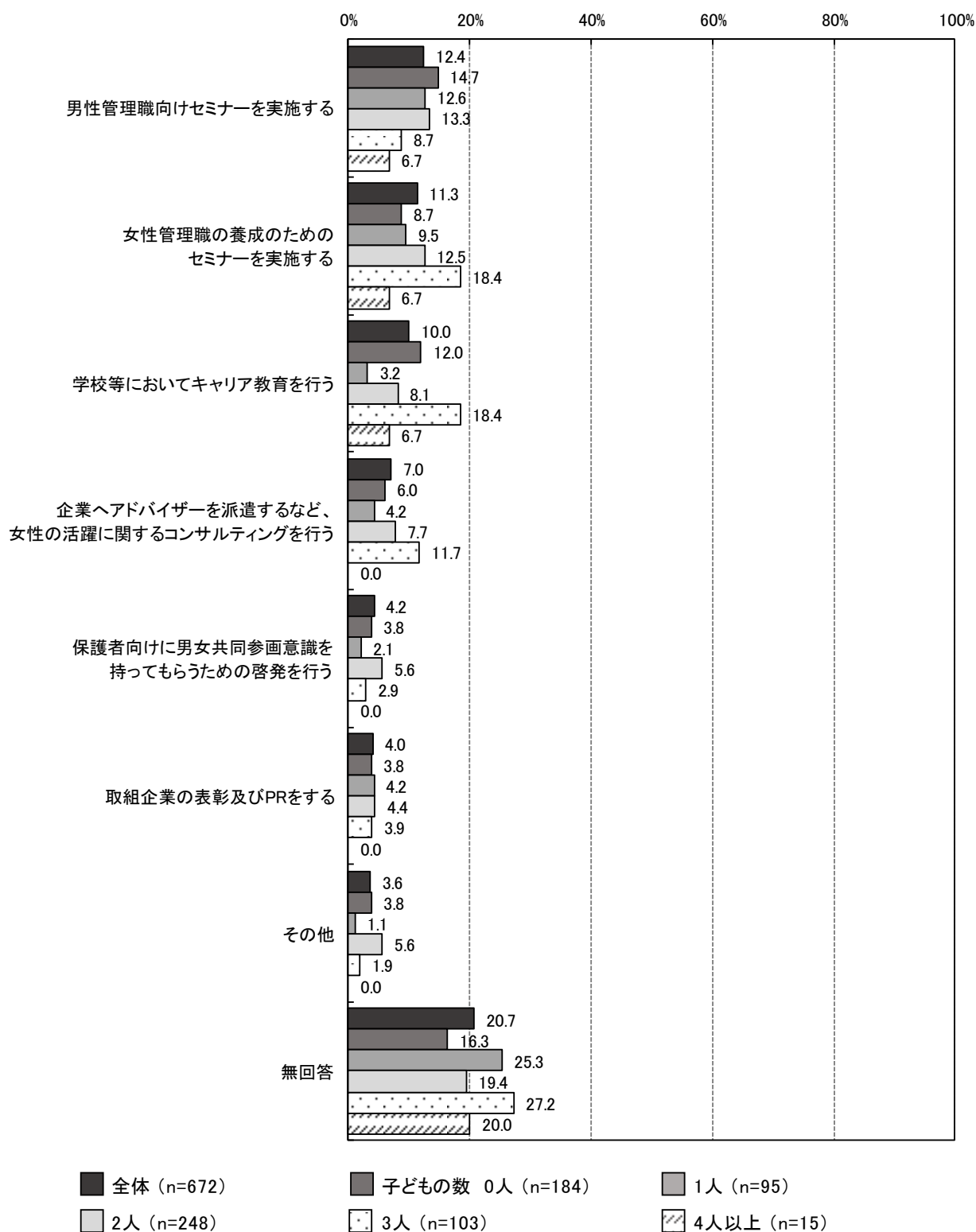


子どもの数別でみると、いずれの子どもの数も「子育て環境（保育所等）を整備する」の割合が最も高く、そのうち0人が60.9%と最も高くなっている。「女性の再就職支援を行う」では1人が51.6%と他の人数に比べて高くなっている。

〔図表 12-1-3①〕 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（子どもの数別）〈MA〉



[図表 12-1-3②] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（子どもの数別）〈MA〉



雇用形態別でみると、正社員、非正社員ともに「子育て環境（保育所等）を整備する」が最も高く、正社員が53.4%、非正社員が50.0%と正社員が非正社員より3.4ポイント高くなっている。「経営者向けのセミナーを開催する」では非正社員が正社員より4.2ポイント高くなっている。

[図表 12-1-4] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（雇用形態別）《MA》

